

情報学部

教育研究上の目的

本学部は、情報やシステムの科学的な理解に基づき、社会における事象に対して情報技術を用いた問題解決の視点で捉え、適切かつ効果的に活用できる能力をもとに、社会の中核で活躍できる人材の育成を目的とします。

教育目標

本学の教育目標及び本学部の教育研究上の目的等を踏まえ、本学部では情報学の確固たる基礎及び応用並びに幅広い教養とともに、倫理観と一般常識を身に付け、技術者をはじめとする職業人として社会の中核で情報学の素養をもって活躍できる人材の育成を目標としています。

情報技術は、急速な進歩をとげつつあるテクノロジーであるため、皮相的な観察だけによると、昨日まで使われていた技術が明日はまったく使われなくなり、不連続的な変化を呈するかのように見える場合もあります。情報学を学ぶことによって、表面上の変化に惑わされることなく、情報という学術分野に関する総括的な理解と技能を得ることができるようになります。

本学部では、情報学の基礎・基盤・応用分野を適切に配置したカリキュラムを通して、そのような能力を養うことを教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学部の各学科の教育課程において、卒業要件単位を取得した者は、次に掲げる知識、教養、能力を身に付けていると判断され、各学科から学士(情報学)の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1) 人間・社会・自然に絶えず関心を持って問題意識を醸成する能力及び論理的な思考力を身に付けている。
- (2) 情報の取扱いに関する倫理観を身に付けている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1) 幅広い教養と外国語能力を身に付け、国際的な視野で物事を捉える能力を身に付けている。
- (2) 言語による適切な表現を利用したコミュニケーション能力を身に付けている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1) 情報学の先端領域の理解を持続的に可能とする基礎的な専門的知識を身に付けている。
- (2) 情報社会の中核で職業人として社会に貢献できる能力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学部では、社会の中核で情報学の素養をもって活躍する人材を養成するため、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1) 入学後の第1セメスターでは、全学共通の初年次ゼミナール「FYS」を通じて大学生の心構えと大学での学び方並びに情報リテラシーを含む社会性を身に付けます。
- (2) 全学共通の教養科目により、幅広い教養、自立した良識ある市民としての判断力と実践的能力、国際的感性とコミュニケーション能力を養成します。
- (3) 情報の取扱いに関する倫理観を身に付ける科目を必修科目として配置しています。

(4)1年次から基礎的な専攻科目を、上位学年になるとより専門性の高い専攻科目を学び、3年次または3年次後学期からは各研究室に配属されてゼミで学ぶことで、専門知識の修得並びに活用とともに社会に貢献できる能力を身に付けられる編成としています。

2. 教育の方法と評価

(1)基礎教育や語学では授業内の小テストを行い、専門教育ではレポートや試験で評価します。

(2)全ての学科・プログラムに演習が組まれており、レポートや発表で評価します。

(3)4年次では研究室にて情報学の特定課題について卒業研究を行い、論文や発表で評価します。

(4)単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

1. 大学教育によって培う能力

(1)本学部は、学術の基礎知識と一般常識を身に付け、情報学における専門的な知識を修得する過程を通じて個を確立し、社会の中核で情報学の素養をもって活躍できる能力を持ち、学び続ける意欲のある人材を育成します。

2. 本学部の求める入学者

(1)高等学校卒業程度の数学、英語、国語等の基礎学力を有する人

(2)大学で積極的に学ぶ意欲を持つ人

(3)大学での学びを将来に生かそうとする明確な目的意識を持つ人

3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

(1)一般入試、給費生試験、大学入学共通テスト利用入試では、情報学部での学修に必要な基礎学力を高等学校での学習の達成度をもとに判断します。ただし、給費生試験では書類審査を含めて総合的に判断します。

(2)学校推薦型選抜である指定校制推薦入試と、総合型選抜を行います。指定校制推薦入試では、勉学意欲に富み、指定校の学校長から推薦された人に対し、面接により選考を行います。総合型選抜では、本学において積極的に学ぶ意志を持つ者に対し、科目(数学)に関する基本的問題、情報分野と科学一般についての面接、または適性検査等により選考を行います。